

八幡浜市誌 目次

発刊の言葉
発刊によせて

凡例
口絵

第一編 自然

第一章 位置	三七
第一節 地理上の位置	三七
第二節 交通上の位置	三七
(一) 鉄道	三七
(二) 道路	三八
(三) 本州・九州連絡	三八
第二章 面積	三九
第一節 地域別面積	三九
第二節 地目別面積	三九
第三章 戸数・人口	四〇

第一節	年次別戸数・人口の推移	四〇
第二節	年齢別人口の構造	四〇
第四章	地形・地質	四四
第一節	地形	四四
(一)	概要	四四
(二)	地形分類	四五
第二節	地質	五二
(一)	概要	五二
(二)	地質各説	六四
第三節	水利地質	六一
(一)	はじめに	六一
(二)	八幡浜周辺地区の土地の構造	六一
(三)	八幡浜市中央地区の土地の構造	六三
(四)	青石中学校付近の地下の構造	六五
第五章	気象	六六
第一節	気候	六六
(一)	概説	六六
(二)	気温	七九
(三)	降水	七〇

(四)	風	七二
第二節	海洋気象	七三
(一)	海水温	七三
(二)	潮流	七三
(三)	潮位	七四
第六章	自然災害	七六
第一節	台風	七六
第二節	干ばつ	七七
第三節	雪害	七七
第四節	地震	七八
第七章	動物	七八
第一節	八幡浜市の動物をたづねて	七八
(一)	舌間海岸磯の動物	七八
(二)	お四国山の小動物	八一
(三)	千丈川の動物	八四
(四)	出石寺方面の動物	八五
第二節	八幡浜の動物あれこれ	八七
(一)	ホタル	八七
(二)	秋の虫たち	八八

(三) 新川に棲む魚の減少……………	八八
(四) 宅地造成による自然環境の悪化……………	八九
(五) 八幡浜湾内で釣れる魚……………	八九
(六) 子どもたちの好きなカブトムシとクワガタムシ……………	九〇
(七) 豊富な陸産貝類……………	九〇
(八) 八幡浜の動物とシーボルト……………	九一
(九) カジカガエルとヘビトンボ……………	九二
(三) 大島のニッポンカワウソ……………	九二
(二) 八幡浜で見られる主な鳥類……………	九二
第八章 植 物……………	九三
第一節 分布……………	九三
第二節 低山の植物……………	九六
(一) お四国山……………	九六
(二) 八幡神社社叢・愛宕山……………	九九
(三) 大元神社・中津川公園……………	一〇一
(四) 日土鹿島神社社叢……………	一〇三
(五) 金山出石寺……………	一〇五
第三節 低地の植物……………	一〇九
(一) 千丈川流域……………	一〇九

第四節 海辺の植物……………	一一〇
(一) 大島……………	一一〇
(二) 諏訪崎・栗之浦白浦海辺……………	一一二

第二編 歴 史

第一章 古 代……………	一一七
第一節 出土品……………	一一七
(一) 覚王寺と徳雲坊遺跡……………	一一七
(二) 愛宕山の三本松・十本松……………	一一九
第二節 地名のおこり……………	一一九
(一) 八幡浜……………	一一九
(二) 矢野荘の矢野……………	一二〇
(三) 矢野の地名の伝承……………	一二一
(四) 八幡浜浦の名……………	一二二
第三節 平家と矢野荘……………	一二二
(一) 忠光寺……………	一二四
第四節 その他……………	一二五
(一) 地形……………	一二五
(二) 産業と交通……………	一二六

(三) 人口と家族構成……………	一一八
第二章 中世……………	一一九
第一節 宇和郡の統治……………	一二九
(一) 橘……………	一二九
(二) 宇和郡と西園寺……………	一三〇
第二節 南方殿摂津……………	一三一
(一) 摂津親秀譲り状……………	一三二
(二) 摂津親安の戦功と元城落城……………	一三五
第三節 萩森殿宇都宮……………	一三九
(一) 髯刷元教……………	一四三
(二) 萩森城落城と房網の死亡……………	一四四
第四節 その他……………	一四六
(一) 平能忠と三尊佛……………	一四六
(二) 矢野保に伊勢内宮役夫工米賦課……………	一四七
(三) 忠光寺再建……………	一四七
(四) 矢野保は泉涌寺領……………	一四八
(五) 石ノ棟城跡……………	一四八
(六) 八幡浜市の城跡……………	一五〇
第三章 近世……………	一五一

第一節 歴代の領主……………	一五一
(一) 戸田勝隆と藤堂高虎……………	一五一
(二) 富田信高と塩成堀切……………	一五二
(三) 富田信高の改易……………	一五三
第二節 宇和島藩政二五〇年……………	一五五
(一) 伊達秀宗時代の苦難……………	一五五
(二) 歴代藩主の治績……………	一五七
(三) 藩政職制……………	一七七
(四) 産業奨励……………	一八四
第三節 幕末期の八幡浜地方……………	一八六
(一) 長州征伐とその影響……………	一八六
(二) 前原巧山と造船……………	一八八
(三) 長崎貿易……………	一九〇
(四) 大政奉還……………	一九〇
第四章 近代……………	一九一
第一節 明治維新と八幡浜……………	一九一
(一) 明治初期の八幡浜……………	一九一
第二節 人々の生活……………	一九四
(一) ペスト騒動……………	一九四

(二)	アメリカ密航	二〇六
(三)	公害問題先見の明八幡浜町会	二〇七
(四)	鉄道開通	二一一
第三節	太平洋戦争と八幡浜	二一三
(一)	戦時下の生活	二一三
第四節	八幡浜の発展	二二〇
(一)	八幡浜の埋立	二二〇
第五章	現代	二二八
第一節	戦後の世相	二二八
(一)	苦しい生活	二二八
(二)	立ち直った生活	二三一
第二節	伸びゆく八幡浜	二三二
第三編	行政	
第一章	明治初期	二三七
第一節	行政区画の変遷	二三七
(一)	版籍奉還と八幡浜の集落	二三七
(二)	廃藩置県と八幡浜	二四二
第二節	行政の機構	二四七

(一)	庄屋	二四七
(二)	戸長	二四九
(三)	村会の設置	二五一
第二章	町村制時代	二五七
第一節	八幡浜町の誕生	二五七
(一)	町村制の施行	二五七
(二)	八幡浜町初期の行政	二五八
第二節	八幡浜町行政の変遷	二五九
(一)	八幡浜町の行政組織	二五九
(二)	主要例規と町勢	二六〇
(三)	歴代町長	二六一
第三節	合併地区の行政	二六一
(一)	矢野崎村制	二六一
(二)	神山町政	二六三
(三)	千丈村政	二六五
(四)	舌田村政	二六六
(五)	双岩村政	二六八
(六)	川上村政	二六九
(七)	真穴村政	二七一

(八) 日土村政	二七二
第三章 市制施行	二七五
第一節 市制施行への課題	二七五
(一) 隣接町村の合併	二七五
(二) 合併条件	二七九
第二節 八幡浜市の誕生と発展	二八一
(一) 市制の施行	二八一
第三節 周辺四か村の編入	二八五
第四節 歴代市長と市政の概況等	二九〇
第五節 行政機構の変遷	二九五
第六節 市議会	二九九
第七節 行政委員会及び委員	三〇一
(一) 選挙管理委員会	三〇一
(二) 教育委員会	三〇一
(三) 農業委員会	三〇一
(四) 監査委員	三〇一
(五) その他の委員会	三〇一
第四章 財政	三〇三
第一節 市制初期の財政規模	三〇三

(一) 市制施行前の財政概要	三〇三
(二) 市制初期から戦前の財政	三〇六
第二節 戦後の財政	三〇九
第三節 赤字の発生から財政の再建	三一四
(一) 第一次財政再建	三一四
(二) 第二次財政再建	三一〇
第四節 財政の現状と将来の展望	三二三
第五章 社会福祉	三三二
第一節 戦前の社会福祉	三三二
第二節 戦後の社会福祉	三四四
第三節 医療保障	三四六
(一) 国民健康保険	三四六
(二) 老人医療	三五三
(三) 零才児医療	三五四
(四) 重度心身障害者医療	三五四
(五) 国保保健婦	三五五
第四節 年金保障	三五六
(一) 国民年金	三五六
(二) 児童手当	三五八

第五節	市民交通障害保険	三六〇
第六章	保健衛生	三六一
第一節	衛生行政の歩みと展望	三六一
(一)	明治以後における衛生行政	三六一
(二)	今後の展望	三六一
第二節	保健衛生活動の推移	三六三
(一)	伝染病対策	三六三
(二)	成人病対策	三六四
(三)	母子保健活動の推進	三六五
(四)	保健婦活動の推移	三六六
第三節	環境衛生	三六七
(一)	一般廃棄物処理業務の変遷	三六七
(二)	ゴミ処理・焼却場施設の変遷	三六八
(三)	深浦不燃焼物処理場の完成	三六九
(四)	大島の廃棄物処理施設	三七〇
(五)	し尿処理業務の推移	三七一
(六)	大島のし尿処理対策	三七三
(七)	八幡浜市営食肉センターの歩み	三七四
(八)	畜犬登録の現状ならびに野犬対策	三七五
(九)	火葬場の現状	三七六
第四節	公害行政の現状	三七七
(一)	具体的取り組み	三七七
第五節	公的医療機関の現況	三七八
(一)	八幡浜市立総合病院	三七八
(二)	伝染病隔離病舎	三八〇
(三)	大島診療所	三八〇
(四)	八幡浜高等看護学院の開設	三八一
第七章	上水道	三八二
第一節	八幡浜市上水道の概観	三八二
(一)	上水道の発足	三八二
(二)	施設の現況	三八二
第二節	第一次拡張事業	三八四
(一)	概要	三八四
(二)	施設の現況	三八四
第三節	第二次拡張事業	三八四
(一)	概要	三八四
(二)	計画規模	三八五
(三)	施工内容	三八五

(四) 事業の意義と成果	三三五
第四節 第三次拡張事業	三三五
(一) 概要	三八六
(二) 計画規模	三八六
(三) 施工内容	三八六
(四) 事業の意義と効果	三八六
(五) 増設事業	三八七
第五節 第四次拡張事業	三八七
(一) 拡張計画の概要	三八七
(二) 用地買収	三八八
(三) 水源	三八九
(四) 工事の施行	三九〇
第六節 配水池の現況	三九〇
(一) 概要	三九〇
(二) 配水池の内容	三九〇
第七節 将来の計画	三九一
(一) 継続事業	三九一
(二) 野村ダム用水の導入	三九一
第八節 簡易上水道	三九二

(一) 概要	三九二
(二) 施設の現況	三九二
第八章 土 木	三九四
第一節 道路	三九四
(一) 市街地の道路	三九四
(二) 周辺の道路	三九九
(三) 市道の現況	四〇二
第二節 橋梁	四〇三
第三節 下水道	四〇四
第四節 港湾	四〇六
(一) 港のおいたち	四〇六
(二) 明治の改修	四〇六
(三) 昭和初期の計画と改修	四〇九
(四) 戦後の計画と改修	四一二
(五) モーターゼーションと港湾	四一四
(六) 伸びゆく八幡浜港	四一五
第九章 消防・警察	四一八
第一節 消防	四一八
(一) 消防の沿革	四一八

(一) 消防のポンプ・ホース・倉庫・警鐘台	四二五
(二) 水利	四二九
(三) 消防の殉職者	四三一
(四) 火災記録	四三一
第二節 警察	四三六
(一) 八幡浜警察の沿革	四三六
(二) 警察官の装備	四三七
(三) 明治・大正・昭和の主な事件	四三八
(四) 交通の取締り	四三九
(五) 警察官の採用・給与・勤務	四四二
第一〇章 兵 事	四四三
第一節 徴兵制度	四四三
(一) 制度の変遷	四四三
(二) 徴兵検査等の状況	四四四
第二節 徴兵	四四六
第三節 銃後の活動	四五〇
第四節 戦没者	四五二
第十一章 選挙	四八三
第一節 選挙制度の変遷	四八三

(一) 市町村の選挙	四八三
(二) 県の選挙	四八五
(三) 国の選挙	四八六
第二節 選挙の執行状況	四八七
(一) 市町村の選挙	四八七
第三節 選挙の管理機関	五〇三
第十二章 労働	五〇四
第一節 戦前の労働事情	五〇四
(一) 工業化、機械化の概要	五〇四
(二) 雇用の状況	五〇六
(三) 労働政策	五〇八
第二節 戦後の労働事情	五〇九
(一) 労働者の組織化	五〇九
(二) 主な労働争議等	五一二
第三節 戦後の労働政策	五一四
第十三章 広報	五一六
第一節 住民組織と広報	五一六

第一章 農業

第一節 農業経営

- (一) 土地利用……………五二四
- (二) 土地制度と農地改革……………五二九
- (三) 農業経営の動き……………五三三
- (四) 農業生産の動き……………五四二

第二節 農業協同組合

- (一) 農業協同組合の変遷……………五五一

- (二) 農協の合併……………五五九

- (三) 農協の組織と機能……………五六一

第三節 農業の近代化

- (一) 農業改善事業……………五六五

- (二) 総合開発計画……………五七二

第二章 水産業

第一節 八幡浜漁業の沿革

- (一) はじめに……………五九四
- (二) 明治以前……………五九五
- (三) 明治以後……………五九八
- (四) 魚市場……………五九九

(五) 魚霊塔の建設……………六〇一

第二節 漁法

- (一) 一本釣……………六〇二

- (二) 沖合底曳き網漁法……………六〇二

- (三) 小型底曳き網漁法……………六〇五

第三節 養殖

- (一) はまち養殖……………六〇七

- (二) 真珠養殖……………六〇七

- (三) その他の養殖……………六〇八

第四節 漁獲量・生産額

- 第五節 水産加工業……………六〇九

- (一) 水産煉製品……………六一〇

第六節 流通

- (一) 鮮魚……………六一四

- (二) 水産煉製品……………六一五

第七節 漁業団体の変遷

第三章 林業……………六一七

第一節 山林の分布

- (一) 山林の分布と自然条件……………六一七

	(二) 樹種と面積……………	六一八
第二節	林業経営……………	六一九
	(一) 戦前までの林業……………	六一九
	(二) 戦後の林業とその将来……………	六一九
第四章	畜産業……………	六二三
第一節	畜産経営……………	六二三
	(一) 和牛乳牛の生産飼育……………	六二三
	(二) 畜産組合と畜産経営の将来……………	六二五
第五章	商業……………	六二六
第一節	八幡浜の商業の変遷……………	六二六
	(一) はじめに……………	六二六
	(二) 藩政時代の商業……………	六二七
	(三) 明治以後の商業……………	六三〇
第二節	現代の商業……………	六三二
	(一) 生活の変化と商業の発展……………	六三二
	(二) 商業地域の拡大……………	六三六
	(三) 商業関係団体……………	六三七
第六章	工業……………	六四一
第一節	はじめに……………	六四一
	(一) 製糸業……………	六四二
	(二) 八幡浜の織物……………	六四四
	(三) 縫製……………	六五四
第三節	食料品製造……………	六五五
第四節	木材・木材加工……………	六五七
第五節	造船・鉄工……………	六五八
第六節	その他……………	六六〇
	(一) 製紙……………	六六〇
	(二) 出版印刷……………	六六〇
	(三) 生コン……………	六六一
第七章	鉱業……………	六六一
第一節	はじめに……………	六六一
第二節	銅山採掘……………	六六一
第八章	交通・運輸・通信……………	六六五
第一節	藩政時代の交通・運輸……………	六六五
第二節	明治以後の交通・運輸……………	六六六
	(一) 海上交通……………	六六七
	(二) 陸上交通……………	六六九
第二節	繊維工業……………	六四二

(三) 交通機関の発達	六七二
第三節 交通・運輸の現況	六七三
(一) 陸上交通	六七三
(二) 海上交通	六七五
第四節 郵便事業と電信電話	六七九
(一) 郵便事業	六七九
(二) 電報電話	六八一
第五節 その他の情報活動	六八三
第九章 電 気	六八四
第一節 電気の普及	六八四
(一) 八幡浜の点灯開始	六八五
(二) 八幡浜変電所	六八五
(三) 送電設備の改良	六八五
(四) 昼夜間線の普及	六八五
(五) 電気供給事業所の変遷	六八六
第二節 供給容量の推移	六八七
第一〇章 金融機関	六八八
第一節 八幡浜における銀行の変遷	六八八
第二節 八幡浜の金融機関	六八九

(一) 普通銀行	六八九
(二) 中小企業金融機関	六九〇
(三) 農林水産金融機関	六九二
(四) 証券金融機関	六九二
(五) 八幡浜郵便局	六九三
(六) 保険会社	六九三
第一章 公 害	六九五
第一節 はじめに	六九五
第二節 佐島の煙害	六九六
第三節 向灘精油所の火災	六九九
第四節 最近の公害問題	六九九
(一) 新川の汚濁とその対策	六九九
(二) その他の公害	七〇一
第五編 教 育	
第一章 藩政時代の教育	七〇五
第一節 私塾・寺小屋の教育	七〇五
(一) 謹教堂の教育	七〇五
(二) 蘭陽堂塾	七〇六

	(三) 西子塾……………	七〇六
	(四) 寺小屋の普及……………	七〇六
	(五) 寺小屋私塾一覧表……………	七〇七
第二節	世俗教育……………	七一〇
	(一) 禾山の教化……………	七二〇
第二章	明治以後の学校教育……………	七二一
第一節	明治期の教育……………	七二一
	(一) 明治政府の教育政策……………	七二一
	(二) 神山県の施策と小学校開設……………	七二二
	(三) 民間人の特志寄付……………	七二四
	(四) 尋常小学校・高等小学校の修業年限……………	七二五
第二節	大正期の教育……………	七二六
第三節	昭和初期の教育……………	七二七
第四節	戦時下の教育……………	七二九
	(一) 国民学校発足……………	七二九
	(二) 青年学校……………	七三〇
第五節	戦後新学制下の教育……………	七三二
	(一) 教育委員会……………	七三四
	(二) 学校給食……………	七二七
第六節	諸学校の沿革……………	七二九
	(一) 小・中学校……………	七二九
	(二) 高等学校……………	七五二
	(三) 幼稚園……………	七五六
	(四) その他の学校……………	七五七
第三章	社会教育……………	七五九
第一節	社会教育……………	七五九
	(一) 社会教育の重要性……………	七五九
	(二) 社会教育法の制度……………	七五九
	(三) 戦前・戦中の婦人会・青年団……………	七六〇
	(四) 社会教育と公民館費……………	七六〇
	(五) 社会教育委員……………	七六二
	(六) 視聴覚教育の普及……………	七六二
	(七) 社会学級……………	七六四
	(八) ボーイスカウト……………	七六五
第二節	公民館……………	七六五
	(一) 初期の公民館……………	七六六
	(二) 新地域の公民館……………	七六六
	(三) 公民館の運営経費……………	七六八

- (四) 公民館連絡協議会……………七六九
- 第三節 婦人会……………七七一
 - (一) 戦事中の婦人会……………七七一
 - (二) 戦後の再組織……………七七一
 - (三) 社会福祉行事と婦人会……………七七二
 - (四) 現在の婦人会……………七七三
- 第四節 青年団……………七七四
 - (一) 戦後の復活……………七七四
 - (二) 青年団行事の特徴……………七七四
- 第五節 P T A……………七七五
- 第六節 図書館……………七七五
 - (一) 設立の発端……………七七八
 - (二) 第一次館屋……………七七九
 - (三) 新館建築……………七七九
 - (四) 館の移転……………七八〇
 - (五) 利用状況……………七八一
 - (六) 蔵書数……………七八二
- 第四章 体 育……………七八二
 - 第一節 市民体育……………七八二

- (一) 体育協会……………七八二
- (二) 体育行事……………七八三
- 第五章 育英事業……………七八七
 - 第一節 西村奨学基金……………七八七
 - 第二節 柏木賞と門田賞……………七八八
- 第六章 教育界の動向……………七八九
 - 第一節 愛媛県教育協会……………七八九
 - 第二節 愛媛県教育会西宇和部会……………七九〇
 - 第三節 八幡浜教員組合……………七九一
 - 第四節 愛媛県教育研究協議会八幡浜支部……………七九三

第六編 宗教・文化

- 第一章 神 社……………七九七
 - 第一節 神社の変遷……………七九七
 - (一) はじめに……………七九七
 - (二) 藩政時代の神社……………七九七
 - (三) 明治時代の神社……………七九八
 - (四) 敗戦と神社……………七九八
 - (五) 祭神その他について……………八〇〇

第二節	現代の神社	八〇二
(一)	八幡浜市内神社の現況	八〇二
第二章	寺院	八〇三
第一節	寺院の変遷	八一三
(一)	明治までの寺院	八一三
(二)	明治以後の寺院	八一五
(三)	戦後の寺院	八一五
第二節	現在の寺院	八一六
第三章	キリスト教	八三五
第一節	沿革	八三五
(一)	藩政時代のキリスト教	八三五
(二)	明治以後のキリスト教	八三六
第二節	教会	八三七
第四章	教派神道	八四〇
第一節	教会	八四〇
第二節	その他	八四四
第五章	芸 能	八四四
第一節	美術・工芸	八四四
(一)	絵画	八四四

(二)	刀剣	八四五
第六章	民 俗	八四五
第一節	総説	八四五
第二節	気質・言語・風俗・習慣	八四七
(一)	気質	八四七
(二)	言語	八四八
(三)	風俗・習慣	八四八
第三節	共同作業	八四九
(一)	出夫	八四九
(二)	コウロク	八五〇
(三)	モヤイ	八五〇
第四節	奉公・日雇い	八五〇
(一)	奉公	八五〇
(二)	日雇い	八五二
第五節	年中行事	八五二
(一)	正月	八五二
(二)	節分	八五五
(三)	春	八五六
(四)	夏	八五七

(五) 秋	八六一
(六) 冬	八六二
(七) その他	八六四
第六節 人生儀礼	八六四
(一) 出産・育児	八六四
(二) 婚姻	八六七
(三) 厄払い・年祝い	八六八
(四) 葬祭	八六八
第七節 民間信仰	八七〇
第七章 民謡	八七〇
第一節 民謡	八七〇
第二節 八幡浜地方の民謡	八七一
(一) しごとの歌	八七一
(二) 祝いごと願いごとの歌	八七六
(三) 盆踊りの歌	八七七
(四) 子守歌	八七九
(五) わらべ歌	八八〇
第八章 方言	八八四
第一節 八幡浜の方言	八八四

第二節 特色ある語法……………八八五

- (一) あいさつことば……………八八六
- (二) 文末のいい方……………八八七

第三節 方言集……………八九〇

第九章 民話・伝説……………八九五

- (一) 弥兵衛塚……………八九五
- (二) 飼はぬ白馬……………八九六
- (三) さつき神さん……………八九六
- (四) 姫宮様……………八九七
- (五) 竜神のわたり……………八九八
- (六) 向灘の六地藏……………八九九
- (七) ちどり姫と杏……………九〇一
- (八) エンコ祭り……………九〇一

第一〇章 文 学……………九〇二

- 第一節 和歌・国学……………九〇二
- 第二節 漢学……………九〇四
- 第三節 漢詩……………九〇四
- 第四節 俳句……………九〇五
- 第五節 近代詩……………九〇七

第六節	小説	九〇八
第七節	現在の動き	九〇八
第一章	文化団体	九〇九
第一節	文化団体一覧	九〇九
第二章	文化財	九一〇
第一節	指定文化財一覧	九一〇
第二節	有形文化財	九二二
(一)	建造物	九二二
(二)	彫刻	九二二
(三)	書籍・典籍・古文書	九二五
(四)	考古資料	九一八
第三節	民俗資料	九一九
第四節	記念物	九一九
(一)	史跡	九一九
(二)	名勝	九二二
(三)	天然記念物	九二四
第五節	県指定文化財	九二六
(一)	八幡愚童記	九二六
(二)	長命講お伊勢踊り	九二七

(三)	五反田柱祭り	九二九
第六節	国指定文化財	九三〇
(一)	阿弥陀如来及両脇侍座像	九三〇
(二)	につぼんかわうそ	九三一

第七編 観 光

(一)	佐田岬半島と八幡浜市	九三五
(二)	八幡神社と愛宕山公園	九三六
(三)	四国八十八ヶ所霊場四国山公園	九三七
(四)	大島海浜公園	九三九
(五)	諏訪崎	九四〇
(六)	金山出石寺	九四一
(七)	斐光園と二宮忠八	九四二
(八)	中津川公園と百矢祭	九四三
(九)	川名津柱松神事	九四三
(三)	八幡神社秋祭とみなと祭	九四四
(二)	やわたはま夏の火祭	九四五
(三)	穴井の座敷びな	九四六

第八編 官公署

第一節 主な官公署の変遷……………九五一
第二節 市の行政機関等……………九五五
第三節 国・県の行政機関一覧……………九五九

第九編 人 物……………九六一

第一〇編 年 表……………一〇四七

八幡浜市内の町名……………一〇七一
あとがき……………一〇七二
八幡浜市誌編纂会役員……………一〇七四
八幡浜市誌の編纂にあたった人々……………一〇七四
時代順年号一覧……………一〇七六

第一編 自然